

## 第3学年 英語科学習指導案

日時 令和6年11月6日(水) 5校時

学級 3年1組 計29名

授業者 駒木希風

1 単元名 Program 6 The Great Pacific Garbage Patch (SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 開隆堂)

### 2 単元の目標

教科書の内容を読んで考えたことや感じたことをポイヤン・スラットさんにビデオレターで伝えるために、ごみ問題について調べた情報、自分の取組内容とそれに取り組もうと思った理由を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を発表することができる。

### 3 単元について

#### (1) 教材について

本単元は、プラスチックごみが話題に取り上げられている。近年、買い物袋や洋服、自動車に至るまで、私たちの生活に幅広く使用されているプラスチックであるが、一方で海洋の環境を汚染する原因にもなっている。日常で使用しているプラスチックが、海の環境を脅かす深刻な問題となっていることを知り、自分たちができることを考えるきっかけとしたい。

言語材料は、学習指導要領の内容(1)英語の特徴やきまりに関する事項一エ 文、文構造及び文法事項(ウ)文法事項一a (b) 関係代名詞のうち、主格の *that*, *which*, *who*, 目的格の *that*, *which* の制限的用法が扱われている。関係代名詞の目的格の構造を理解した上で、意味のある文脈の中で繰り返し触れることができるよう言語活動を工夫し、単元の目標と関連付けて指導したい。

#### (2) 生徒について

### (3) 指導について

「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編」の目標「(3) 話すこと〔発表〕 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。」を本単元に主に関連する領域別目標とし、本単元のゴールには、教科書の内容を読んで、考えたことや感じたことをボイアン・スラットさんにビデオレターで伝える活動を設定した。このように、教科書を通してオーシャン・クリーンアップ計画を始めたボイアン・スラットさんの活動を知り、生徒の中に生まれるボイアン・スラットさんへの感謝や質問、驚きなどの考えや気持ちをビデオレターで直接伝えるという課題を設定することで、単元全体を通した主体的な学びを促したいと考える。また、その過程におけるボイアン・スラットさんの活動をまとめる学習を通して、本単元のターゲットの言語材料である関係代名詞の活用が期待できると考える。

また、本単元を通して、社会や世界、他者との関わりの中で幅広い話題について自分自身の立場や考えを主体的に表現する生徒を育成するために、その社会的な話題を自分事として捉えさせるための問いを大切にしたいと考える。例えば「この問題の根本的な原因は何か？」や「他国ではどんな対策が取られているか？」など、多面的な視点を持たせるとともに、自分たちへ目を向けさせる問いを投げかけたい。しかし、本単元の題材はプラスチックごみ問題であるが、ごみ問題に対する生徒たちが自分で考える取組は似通ったものが多く出されると予想される。そこで、他の生徒が知らないような情報を入れた個性的な発表が行われるよう促したい。

また、失敗を恐れずに、自分の考えや感じたことなどを整理して英語で発表しようとする生徒を育てるために、簡単なフレーズや単語から始め、徐々に短い文を使えるように指導する。生徒が自信を持てるよう、英語で伝え合う機会を多く設けたい。

そのために、単元導入時には、教師がデモンストレーションを行うことで、生徒が自分の発表で目指す姿をイメージしやすいようにする。また、単元のゴールに向かうまでの過程では、各活動をゴールの活動に繋げ、生徒がゴールの発表の構想を徐々に膨らませる機会を、単元を通して意図的に設けていきたい。

これまで、単元のゴールで目指す姿を生徒に明確に意識させ、単元を通した主体的な学びを促すために、ルーブリックを活用してきた。本単元で扱うルーブリックはS、A、Bの三段階評価となっている。一般的なルーブリックのAに当たる評価基準をSとし、Bに当たる評価基準をAとしている。Bについては、生徒たちの実態を踏まえ、特別な支援を要する生徒を含めた全員が達成できる目標を設定している。これまで生徒たちは、課題を解決することが難しい友達がいたら助け合い、共に学習を進めてきた。誰一人欠けることなく全員が目標を達成できる基準を設定したいという思いから、このような形で進めてきている。本単元でも、学級全体で支え合いながら、全員が目標達成を目指して学習を進めていくよう指導していきたい。

### (4) 研究に関わって

本単元では、以下の授業づくりの「視点2」「視点3」を重点として進める。

- 自己調整をしながら、主体的に課題解決に取り組む児童生徒【授業づくりの視点2】
- 友達との学びから、自分の考えを広げたり、深めたりする児童生徒【授業づくりの視点3】

「視点2」については、生徒にまとまった時間を与え、その中における学習方法を自己決定して学習を進める機会を意図的に設定することを主な手立てとする。課題解決する上で、生徒は個別学習や協働学習、教師との対話等の様々な学習形態があることをこれまでの学習を通して経験してきた。本単元においても、様々な学びの形態の中から各自選択する中で課題解決させたいと考える。また、自己調整を図らせるために、時間を十分に使って解決できる課題を設定し、主体的に取り組めるように指導していく。

「視点3」に関しては、ペアやグループ活動を毎時間設定し、クラスメートとの学びの中から自分自身の視野を広げたり、考えを深化したりさせたいと考える。生徒の実態に応じた支援と学びを促進させるために、教師は同じような考えを持っている生徒同士を繋げたり、他の生徒に気付きを与えるような生徒の発言を大きく取り上げたりするなど、生徒と生徒の学びを繋げていく役割を担いたい。

#### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識] 関係代名詞（目的格）を用いた文の構造を理解している。</p> <p>[技能] プラスチックごみ（環境問題）について、教科書の内容から読み取ったことや自分で調べた情報を整理し、関係代名詞（目的格）を用いた文を用いて話す技能を身に付けている。</p>	<p>教科書の内容を読んで、考えたことや感じたことをボイアン・スラットさんにビデオレターで伝えるために、ごみ問題について調べた情報、自分の取組内容とそれに取り組もうと思った理由を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。</p>	<p>教科書の内容を読んで、考えたことや感じたことをボイアン・スラットさんにビデオレターで伝えるために、ごみ問題について調べた情報、自分の取組内容とそれに取り組もうと思った理由を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を聞き手に配慮しながら主体的に話そうとしている。</p>

#### 5 指導と評価の計画（11時間）

記録に残す評価（●），指導改善・学習改善に用いる評価（○）

段階	時	本時の目標	評価の観点			評価規準と方法
			知	思	態	
P r o g r a m 6	1	お気に入りのものを紹介しよう。				関係代名詞 <b>which</b> や <b>that</b> を用いた文の構造を理解している。 【観察・ロイロノート】
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>Scenes の学習から関係代名詞 <b>which</b> や <b>that</b> を用いた文の構造を理解する。</li> <li>お気に入りの物や思い出の物を紹介する。</li> </ul>	○			
	3	<p>日本が世界2位となっている問題とは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師のデモンストレーションやルーブリックを通して、本単元のゴールを明確にイメージする。</li> <li>プラスチックごみ問題について、他の人が驚くような情報を調べる。</li> </ul>			○	教師の話や自分で調べたことを通して、本単元で学習することについて捉えようとしている。 【観察・ロイロノート】
	4	<p>太平洋に浮かぶ島の正体は何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>太平洋ごみベルトについて読み取り、太平洋に浮かぶ島の正体とともに、プラスチックごみ問題について調べた情報を説明することができる。</li> <li>Think 1 から、ゴールの発表に用いることができそうな表現を学習する。</li> </ul>	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>本文を読んで、概要や要点を捉えている。</li> <li>関係代名詞の理解をもとに、太平洋に浮かぶ島について説明することができる。</li> </ul> 【観察】
	5	<p>海洋生物が受けている被害は何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プラスチックごみが海洋生物にどのような被害を与えているか読み取るとともに、海洋生物やその他へ与える被害を説明することができる。</li> <li>Think 2 から、ゴールの発表に用いることができそうな表現を学習する。</li> </ul>	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>本文を読んで、概要や要点を捉えている。</li> <li>関係代名詞の理解をもとに、海洋生物が受けている被害について説明することができる。</li> </ul> 【観察】
	6	<p>プラスチックゴミを永久的に取り除く方法を発明した人とは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボイアンさんがどのような人物か読み取り、説明することができる。</li> <li>Think 3 から、ゴールの発表に用いることができそうな表現を学習する。</li> </ul>	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>本文を読んで、概要や要点を捉えている。</li> <li>関係代名詞の理解をもとに、ボイアンさんについて説明することができる。</li> </ul> 【観察】

7 【本時】	ボイヤンさんへビデオレターを送ろう①				<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を読んで考えたことや感じたことを整理し、発表することができる。</li> <li>簡単な語句や文を用いて、聞き手に配慮しながら主体的に話そうとしている。</li> </ul> <p>【観察・ロイロノート】</p>	
	8 9	ボイヤンさんへビデオレターを送ろう②③				<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を読んで考えたことや感じたことを整理し、発表することができる。</li> <li>環境問題に対する自分の取組を説明する上で、聞き手にわかりやすく伝えるために効果的なものを用いながら話そうとしている。</li> </ul> <p>【観察・ロイロノート】</p>
	10	ボイヤンさんへビデオレターを送ろう④	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を整理し、学習したことを活かしながら話そうとしている。</li> </ul> <p>【観察・ロイロノート】</p>
	11	ペーパーテスト	●	●		

## 6 本時の指導（7／11時間）

### (1) 目標

教科書の内容を読んで、考えたことや感じたことをボイヤン・スラットさんにビデオレターで伝えるために、本文の Retell を活かして、自分自身の発表内容を整理することができる。

### (2) 展開

段階	学 習 活 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導上の留意点</li> <li>〈 〉 指導改善・学習改善に用いる評価</li> <li>○ 研究内容との関わり</li> </ul>
導 入	1 前時の復習をする。 2 課題を把握する。 7 分 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">ボイヤンさんへビデオレターを送ろう①</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒とやり取りをしながら Think 3 の内容を振り返る。</li> </ul>
展 開	3 ボイヤンさんの活動をまとめ、友達に発表する。 (15分) <ul style="list-style-type: none"> <li>Mapping (5分)</li> <li>Retelling (5分)</li> <li>全体共有 (5分)</li> </ul> 40 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ロイロノートに提出し、共有しながら交流することで、多様な考え方やまとめ方を学べるようにする。</li> <li>◆視点2・3</li> <li>Mapping のキーワード、Retelling の文章構成や表現がゴールの活動の参考になることに気付かせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">           〈指導改善・学習改善に用いる評価〉            教科書を読んで考えたことや感じたことを整理し、発表することができる。         </div>

	<p>4 ビデオレターの内容を整理し、動画を撮影する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画を撮影し、提出する（25分）</li> </ul>	<p>○友達のリポートの内容と自分のものを比較しながら、自分の考えを整理したり、発表の見通しを立てたりする。 ◆視点2・3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良い例や生徒の困り感、よりよくするためのポイントを全体で取り上げる。</li> <li>・現時点での発表の記録を残す。</li> </ul> <p>○様々な学習形態の中から各自選択し、学びを進める中で課題解決しようとしている。 ◆視点2・3</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈指導改善・学習改善に用いる評価〉 簡単な語句や文を用いて、聞き手に配慮しながら主体的に話そうとしている。</p> </div>
<p>終 末  3 分</p>	<p>5 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題に対する振り返りをする。</li> </ul> <p>6 次時の学習内容を確認する。</p>	